

## 「創立60年記念植樹」5本の桜の木が生長しました。



夢を1つ1つ叶えられるようにという願いが込められています。

山王中生が広く大きな心をもってほしいという願いが込められています。

立ち止まってのあいさつが更に山王中生に浸透してほしいという願いが込められています。

木が育つと同時にやる気がどんどん増してほしいという願いが込められています。

自ら動き自律する山王中生を目指してほしいという願いが込められています。



# 山王校報

## 第204号



(4月17日 生徒会任命式)



(4月8日 入学式)



### 「協働 (collaboration)」のすすめ

校長 加賀谷 宗 篤

「山王やる気教育」も三年目を迎えました。今年度は、「徳性を高める生徒指導の充実」を優先課題に据え、「山王やる気教育」を「3」に挑戦することとしました。育てたい力は、規範意識や公德心などを具体的な言葉や行いとして表そうとする「生きる力」です。

山王中は、生徒が大人になるために、生徒を大人扱いする学校として、生徒を取り巻く大人たちの連携を提唱してきました。一年生を「小学校七年生」扱いし、二・三年生を「幼い」の一言で済ませては、大人修行の機会が違わなくなります。生徒は甘やかされても愛は感じませんし、劇的に変容することもありません。生徒が大人になるためには、信頼できる大人との出会いが必要です。

そのために、生徒にとって最も身近な大人である教師、保護者、地域の人たちが、人間関係のスキルを身に付け、それがモデルとなって生徒に波及する山王学区でありたいと思っています。

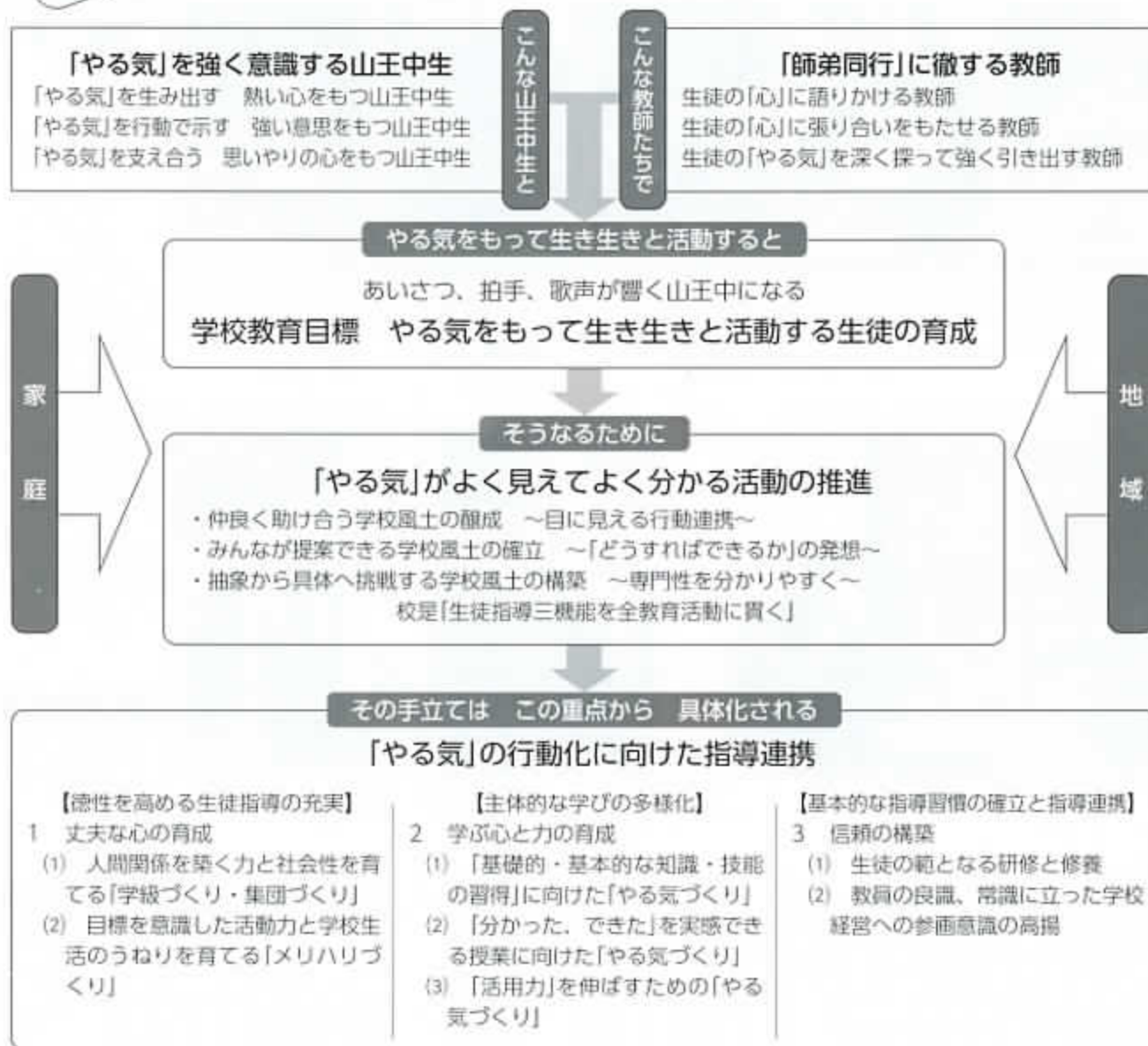
ところで、明治大学教授の諸富祥彦氏は、著書「自分を好きになる子を育てる先生」の中で、昭和四十年代の「自分も幸せになりたいけれど、社会に役立つこともしたい(まじめガンバリズム)」というライフスタイルが、昭和五十年代半ば以降になると「社会のためではなく、自分のためががんばる(自分主義)」となり、平成三年頃からは「がんばってもがんばらなくても、人生そんなに変わらない、だったら楽して生きた方がいい(脱力主義)」という、がんばっても変わらない規範なき時代のライフスタイルへの変遷について述べています。

このことからすると、今の社会は、その時代時代で生きてきた人たちが一緒に生活しているのですから、多様な価値観の林立はあって当然なのかも知れません。しかし、だからと言って時代の変遷で失われてきた「仲良く助け合う」、「困難に耐える」、「自ら切り拓く」、「人を気遣う」などの人間性の理を、あきらめていいはずがありません。まずは、社会を変化させた私たち大人が、何が正義で、何が不正義かを曖昧にせず、人間性の理たる「徳性」を分かりやすい言葉や行いにして生徒に範を示す必要があるような気がします。

「大人が子どもを育てる街」を標榜する山王学区にあっては、学校と保護者と地域が、相互の自主性・主体性を尊重し、役割・責任を分担しながら、共通の目的・目標に向かって協力して相乗効果を上げるという協働 (collaboration)こそが、次代を担う生徒を育てる手立てであると確信します。

キーワードは  
やる気!

## 平成26年度山王やる気教育のイメージ



### 平成25年度学校経営をふりかえって

「山王やる気教育」の実践2年目は、学校経営上の最優先課題を「生徒指導の充実」とし、重点事項の第一には、「丈夫な心の育成」を掲げ、共通実践として、生徒の「やる気」が言葉や行いとして見えるようになるために、生徒指導の三機能を学習指導等々の全教育活動に生かして実践してきた。

その結果、自主自律の気運が高まり、生徒活動の主体性と自律性が学校風土を改善したことが大きな成果としてあげられる。また、授業の様相においても、課題解決に向けた媒介的な活用型や課題追究を求める発展的な探求型が増えた。

しかしながら、生徒指導領域における規範意識や公德性の向上に関する「やる気」の具現化は不十分であり「みんなのためになり、しかも自分のためにもなる」ことを具体化しようとする生徒自身の主体性が課題としてあげられる。

今後は「徳性を高める生徒指導の充実」を最優先課題として「山王やる気教育」に取り組み、生徒自身が主体性をもって規範意識や公德性を具体的な言動として具体化しようとする「生きる力」をはぐくむことができるような指導体制の構築を図ることが課題であるととらえている。

### 学校評議員からの意見

#### 〈教育課程・学習指導〉

- ・目標に向かってまとまるパワーがすばらしい。生徒は、様々な活動から達成感を得て喜びを感じていた。先生方は自信と誇りをもって指導を積み重ねてほしい。
- ・公開授業で形態の違う授業をたくさん見た。仲間同士で伝え合っていた。

#### 〈生徒指導〉

- ・この1年を通じて生徒の成長が感じられた。地域とのかかわりや道徳など形として見えにくいものにも力を入れてほしい。
- ・創立60周年式典に向けての生徒のまとまりや覇気を大切に、高い目標に向かって頑張ってもらいたい。
- ・あいさつは良くなっている。地域でも声をかけられる場面が増えてきた。

#### 〈家庭・地域との連携〉

- ・外から見た学校のよさを、地域からも生徒に伝えていきたい。
- ・朝のあいさつ運動など、PTAでも依頼文を出して啓蒙していきたい。また、朝の時間帯に地域の方にも外に出てもらうモデル地区づくりなどをしてほしい。

## 生徒の活躍(H26.5.11現在)



### 秋田市中学校春季大会

(ソフトテニス男子)	優勝	優勝	勝
(バスケットボール男子)	優勝	優勝	勝
(剣道男子団体)	優勝	優勝	勝
(ソフトボール)	第3位	第3位	勝
(柔道男子団体)	第3位	第3位	勝
(陸上競技)			

男子共通200m	優勝	勝	中沢 駿介
男子共通400mリレー	優勝	勝	
干葉圭人・伊嶋颯雅・三浦祐紀・中沢駿介			
男子共通走幅跳び	優勝	勝	三浦 祐紀
男子共通400m	第2位	勝	伊嶋 颯雅
(体操競技)			
男子個人総合	優勝	勝	豊澤 鉄平
種目別 鞍馬・床・跳馬	優勝	勝	豊澤 鉄平
鉄棒	第2位	勝	豊澤 鉄平
(剣道男子個人)	優勝	勝	高橋 舜
	第2位	勝	木村 弘人
(柔道男子個人階級別)	優勝	勝	山田修太郎
	第2位	勝	米塚 陸斗
	第3位	勝	渡邊 将大
		勝	上村 健佐

### その他の大会等

☆田沢湖カップバスケットボール大会			第3位
(女子の部)			
☆東日本選抜バスケットボール琴丘大会			第3位
(男子の部)			
☆秋田市民剣道大会			第3位
(中学生男子団体の部)			
☆秋田県剣道段別選手権大会	優勝	勝	高橋 舜
(初段の部)			
☆全県選抜防犯少年柔道大会			準優勝
(中学生男子団体の部)			
(中学男子優秀選手賞)			山田修太郎
☆米沢市民体育祭上杉フェンシング大会			
(中学生男子の部)	第2位	勝	藤井 凌大
☆東日本少年個人フェンシング大会			
(中学男子エペ)	第5位	勝	藤井 凌大
(中学男子サーブル)	第8位	勝	伊藤 公
☆秋田県春季テニス選手権大会			
(一般女子Aシングルス)	第2位	勝	丸山 佳愛
☆秋田県中学生テニス選手権大会			
(女子シングルス)	優勝	勝	大島 美里
	準優勝	勝	丸山 佳愛
(女子ダブルス)	優勝	勝	大島美里・丸山佳愛
☆国展(国画会主催)			
入選	長崎あゆみ・佐藤 あみ・木村 華		
	中津 万智・相場 美乃		



## 地域の方から山王中生へ



私と吹奏楽の出合いは、今から四十七年前、小学校五年生のとき川尻小学校に吹奏楽部ができ、トランペットに出会った時から始まる。当時小学校の吹奏楽部は珍しく東北で始めてであったと記憶している。また、当時山王中の指導者であった木内博先生が小学校にいらして部員を一人一人並べて管など見ながら、君はあの楽器、君はこの楽器と指示されていたことを覚えている。何か怖そうな人だなあと、というのが第一印象であった。

この木内博先生が、山王中吹奏楽部の基礎を築き、全国有数の名門バンドに育て上げた人である。厳しく怖い先生であったが、一方で面白くて優しい人間味溢れる素晴らしい先生であった。亡くなられて三十七年になるが未だに語り継がれている偉大な人である。ちなみに現在の指導者の木内恒先生の父上である。

## 山王中吹奏楽部への思い

山王中学校吹奏楽部OB代表 杉山重直

山王中に入り練習に明け暮れる毎日を通すことになった。当時は野球部やサッカー部よりも体育会系の部活であった。とにかく一生懸命練習した。コンクールが全てでは無いが、三年生の時の全国大会は銀賞であったがやるだけやったので全く悔いは無かった。

その後、子供が吹奏楽部に入り、今度は父母としてかわかることになり、違った意味でたくさん思い出さることができた。

木内博先生が残した「生きた音楽だけが心から心へ呼びかける」という言葉がある。毎年のように全国大会を聴きに行っているが、先生の言葉のとおりであるといつも思う。全国に出てくるレベルの学校は当然のことな

が上手い。正直山王より上手な学校はたくさんある。しかし上手いと感動とはイコールでは無いのである。感動を与えられる演奏とは「心から心へ」伝わる「生きた音楽」だけなのである。山王の演奏にはそれがある。素晴らしい指導者の先生達に恵まれて伝統と栄光を築いてきたが、決して忘れてはいけないことは、現在の栄光の際に悔し涙を流したたくさんの先輩たちがいたこと、また学校、父母、地域の皆さんの思いの強さに支えられ今の山王中吹奏楽部があるということである。

これからも感謝の気持ちを忘れず、たくさんの人達に感動を与える「生きた音楽」を奏で続けていってほしいことを願っている。私もプレーヤーとしてまた父母として関わることができ、本当にありがたいと思っている。OBの一人として、吹奏楽部をずっと応援していくつもりである。

## よろしくお祈いします

副教務(国)	藤前 祐子	御野場中より	1-2期(英)	牧野 佳子	外畑中より
1-6期(国)	杉本 圭子	御所野学院中より	2-7期(英)	藤織 香美	雄和中より
1年主任(家)	橋岡 瑞穂	泉中より	2-8期(社)	桑原 美加	男鹿東中より
1-13期(社)	藤織 隆之	泉中より	2-2期(数)	平井 将史	本荘南中より
1-2期(英)	長崎美由紀	御野場中より	1-5期(体)	内藤 元基	新平
1-6期(英)	小笠原仁子	秋田北中より	1年派(英)	佐藤 静	勝平中より
2-11期(理)	阿部 正樹	土崎中より	2年派(理)	伊藤 幸	城東中より
2-13期(体)	角藤 悠子	雄平中より	1年派(社)	藤岡 輝人	新平

## 転入職員紹介

**生徒会執行部**

新たな年度の「RESTART」。山王中学校のやる気を更に高めていけるよう、日々の活動に尽力します。

國分 裕太

**生活委員会**

生活委員会では、呼びかけを中心に常時活動を徹底し、生徒全員が気持ちよく生活できる環境をつくっていきます。

伊藤 朱里

**給食委員会**

全校生徒が楽しい給食時間を過ごすことができるように、毎日の委員会活動を徹底して行いたいと思います。

田邊 かこ

**野球部**

**全県制覇** ④ チームの目標である全県制覇を果たすために日々の練習を全力で行い、中総体では絶対優勝してきます。

佐々木大輔

**サッカー部**

**市内一位** ④ サッカー部は一日を大切に、目標の「市中総体優勝」だけでなく、あいさつでも市内一位になれるようがんばります。

松野 竜士

**バレーボール部**

**響くバレー** ④ チームをしっかりと引っ張り、声を出し合い、試合で日頃の練習の成果を生かせるように頑張ります。

駒野谷天乃

**ソフトボール部**

**全カプレー** ④ 私たちソフトボール部は全カプレーを合い言葉に練習でも試合でもみんなで声を出してがんばりたいです。

嵯峨美衣菜

**男子バスケットボール部**

**三連覇、全中、山王魂** ④ 私たちは「全員で勝つ」が目標です。1人1人が勝利に貢献し、東北三連覇、全中出場を目標に日々努力していきます。

広川 汰輝

**女子バスケットボール部**

**山王女バスここにあり** ④ 声で1人1人の気持ちをつなぎ、自分を信じ、仲間を信じ、最後の1秒まであきらめず戦い絶対全県出場します。

戸島 珠凜

**男子陸上競技部**

**全員で勝つ** ④ 中総体までにチームワークの向上はもちろん、技能の向上など、現在の課題を全て克服して絶対に総合優勝します。

中沢 駿介

**女子陸上競技部**

**限界突破** ④ チーム一丸となって、それぞれの目標に向かって全力疾走し、日々の練習を1秒でもむだにせず、頑張ります。

岩戸 紗英

**正副委員会**

全校のリーダーや手本であることを常日頃から意識し、自らの仕事を果たしていけるよう頑張ります。

高橋 真大

**環境保体委員会**

全校生徒が過ごしやすい環境をつくるっていくことと、手洗いうがいの呼びかけをがんばります。

斉藤 彩

**学習委員会**

前学期は、今までとは違った活動を取り入れていきます。

そのためには、しっかりと委員会をまとめていきます。

小松 歩

**図書委員会**

山王中の図書委員長として、やる気を持ち、委員全員で、もっと読書に親しんでもらえる活動を考えます。

山口 真彩

**吹奏楽部**

**心から心へ** ④ 始めの一步を素早くし、無駄のない行動をします。そして、最高の演奏を目指し、今年も全国金賞を獲ります。

水谷 優希

**バトン部**

**やる気・元気・素敵・魅力的** ④ 今年の目標を達成するために、日々の練習を大事にし、あいさつ、返事に「やる気」を表します！

森元 杏佳

**美術部**

**幅広い活動を** ④ 普段の活動のみならず県内外のワークショップなどの企画に参加して活動の幅を広げていきたいと思っています。

長崎あゆみ

**科学部**

**応援される部活!** ④ 現在の部員数は23人ととても多いです。この人数の多さを生かしてよりよい部活動をつくっていきます！

平塚 萌

**放送部**

**伝える** ④ 校内放送でも、全員入費を目標にしている放送コンテストでも、自分たちの思いを伝えられるよう頑張ります。

菅原 慧

**男子剣道部**

**全県優勝** ④ 春季大会では、優勝することができましたが、ここで気を抜かず一生懸命に練習をして、全県制覇します。

山内 健史

**女子剣道部**

**全県出場** ④ 私たちは、「全県出場」という目標に向かってがんばっています。1日1日の練習を大切に、全県に出場したいです。

佐藤 梓

**柔道部**

**全戦一本** ④ ぼくたちは、中総体で優勝を目指します。そのためには、練習で目標・目的を持ち、質の高い練習をしていきたいです。

山田修太郎

**卓球部**

**一球入魂** ④ 中総体で部員全員が1つでも多く試合で勝つことができるように日々の練習で課題を持ってがんばります。

田中 諒

私たちのやる気  
各代表の今年度の抱負

空魂 やる気燃ゆる者道を拓く